

理論編

第1章 説明文

1 指示語・接続語……………4

2 段落相互の関係……………12

3 要旨……………20

第2章 論説文

4 事実と意見……………28

5 段落の構成・要点……………36

6 論旨……………44

7 1・2章のまとめの問題……………52

第3章 小説文

8 あらすじ・場面……………58

9 人物・心情……………66

10 主題……………74

第4章 随筆文

11 情景・心情……………82

12 表現……………90

13 主題……………98

14 3・4章のまとめの問題……………106

第5章 詩歌

15 形式・特色・技法……………112

16 主題・鑑賞……………118

第6章 古典

17 古典の基本1……………124

18 古典の基本2……………132

19 5・6章のまとめの問題……………140

第7章 文法・語句・資料問題・表現

20 文法……………146

21 語句……………154

22 資料の読み取り……………162

23 作文・表現の基本……………168

演習編

第8章 説明的文章の演習

24 説明文の演習……………174

25 論説文の演習……………180

第9章 文学的文章の演習

26 小説文の演習……………186

27 随筆文の演習……………192

第10章 詩歌の演習

28 詩・短歌・俳句の演習……………198

29 詩歌と鑑賞文の演習……………204

第11章 古典の演習

30 古文・漢文の演習……………210

31 古典と解説文の演習……………216

第12章 文法・語句・資料問題・表現の演習

32 文法の演習……………222

33 語句の演習……………226

34 資料の読み取りの演習……………230

35 表現の演習……………234

総合問題

付録―古典の知識……………244

指示語・接続語

学習のねらい

- ・指示語が指す内容をとりとえる。
- ・接続語の種類と働きを押さえる。

例題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

ポイント

◎ 説明文とは

ある知識・情報を読者に理解させるために、具体的にわかりやすく説明した文章。

説明文を読むということは、説明のつながり、文や段落の構成をとらえ、最終的には、その文章の要旨を読み取るということである。

◎ 指示語が指すものとりえ方

指示語とは、前後の文や文章中の言葉を指し示すために使われる言葉。

- (1) 指示語の指す内容を探す。
 ※直前に示されていることが多い。
- (2) 指示語と置きかえられるような形に整える。
 ※書き抜いて答えられるものもある。
- (3) 指示語に代入して、文脈が通るかどうか確認する。

◎ 接続語の種類とその働き

接続語とは、前後の二つの文や段落などがどんな関係にあるのかを示した語。

接続語をたどると、文章の流れがわかる。

- (1) 順接
 ↓だから・そこで・それで など
- (2) 逆接
 ↓しかし・だが・ところが など
- (3) 転換
 ↓さて・ところで・では など
- (4) 並立・累加
 ↓また・および・そのうえ など
- (5) 説明・補足
 ↓つまり・ただし・なぜなら など
- (6) 比較・選択
 ↓あるいは・それとも・もしくは など

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(池内了「考えてみれば不思議なこと」より)

35 30 25

□(1) — 線①「その性質」は、どのような性質を指していますか。文章中から書き抜きなさい。

□(2) — 線②「これ」は、どのようなことを指していますか。文章中の言葉を用いて書きなさい。

□(3) — 線③「このような経験」とは、どの段落で述べてきた内容を指していますか。段落の番号をすべて答えなさい。

□(4) 1 3 にあてはまる接続語として最も適切なものをそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。(同じ記号は二度使えない。)

ア あるいは イ そこで
 ウ では エ ところが

解法

(1) 「その性質」 ↓ ① 「性質」という言葉を探す。

② 性質を示す言葉を探す。
 ↓ 「性質」の形で答える。

(2) 「これ」によって元気を取り戻すや……」

① 指示語についての情報を読み取る。

アリーが元気を取り戻すような物事を指している。

「これ」 ↓ 名詞、あるいは「こと」「もの」。

② 指示語が指す内容を抜き出す。

「アリーは、獣医の匂いを嗅ぎつけるや
 大喜びで吠え立て、**彼を『救出』した**のです。」

③ 答えにふさわしい形を整える。 ← 「彼」≡ 獣医 ↓ 「獣医を『救出』した」 + 「こと」。

(3) 「このような経験」 ↓ 経験を指している。

問題文「どの段落で述べてきた内容」 ↓ 段落単位で考える。

① 指示語の出てくる段落から、指示語についての情報を読み取る。

「もはや生存者が期待できない時期になると救助犬の派遣が中止されました」 ↓ 救助犬の派遣についての経験だとわかる。

② 救助犬についての出来事が書かれた段落のまとまりを見極める。

(4) 接続語(空欄部分)の前後の部分の関係を考える。

1 救助犬や盲導犬は、命令がないと動かない。
 ご褒美欲しさか、ロボットの動きか。 ↑ 別の話題

2 生存者：喜び興奮して颯爽と飛び出す。
 死亡者ばかり：落ち込んで意欲を失う。 ↑ 相反する内容

3 救助犬としての能力を失ってしまいかねない。
 隠れている獣医を「発見」させる。 ↑ 前が理由、
 あとが結果

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30

(本川達雄「サンゴとサンゴ礁のはなし」より)

□(1) — 線①「それ」は、何を指していますか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア サンゴ礁
- イ サンゴ礁の植物
- ウ サンゴ礁のたくさんの動物たち
- エ 海藻の立派な海中林

□(2) 1・2に共通してあてはまる接続語として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア たとえば イ ところが
ウ だから エ あるいは

□(3) — 線②「これ」は、どのようなことを指していますか。文章中の言葉を用いて答えなさい。

□(4) — 線③「これ」は、何を指していますか。文章中の言葉を用いて、二十字以上二十五字以内で書きなさい。

□(5) 3・5にあてはまる接続語として最も適切なものをそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。(同じ記号は二度使えない。)

- ア つまり イ それとも ウ だから エ ただし
- 3 4 5

□(6) — 線④「そこ」とは、どこのことですか。文章中から書き抜きなさい。

□(7) — 線⑤「その中」とは、何の中のことですか。文章中から二字で書き抜きなさい。

の中

□(8) 6・7には、同じ種類の接続語があてはまります。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 比較・選択 イ 逆接
- ウ 転換 エ 並立・累加

□(9) — 線⑥「この粘液」は、何が、何のために分泌した粘液を指していますか。文章中の言葉を用いて説明しなさい。

□(10) — 線⑦・⑧の「それ」は、何を指していますか。最も適切なものをそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。

- ア 褐虫藻
- イ カニ
- ウ サンゴから剥がれた粘液
- エ バクテリア
- オ 動物プランクトン

⑦

⑧

□(11) — 線⑨「それら」は、何を指していますか。文章中から書き抜きなさい。



次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55 50 45 40 35 30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(青木淳一「博物学の時間」より)

60

(注) 地衣：菌類の一つ。菌類と藻類の共生体。

冬虫夏草：菌類の一つ。多くは昆虫に寄生し、その体からキノコが生える。

同定：自然科学で、既存の分類体系の中に位置付け、どれと同じであるかを認定すること。

□(1) 1・2 にあてはまる接続語の組み合わせとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 1 つまり 2 それなのに
- イ 1 とはいえ 2 なぜならば
- ウ 1 しかし 2 であるから
- エ 1 ところが 2 そのうえ

□(2) 線①「すなわち、名前は知識の扉を開ける『鍵』となるのである」は、直前の文とどのような関係につながっていますか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 直前の文の内容を根拠とした説明になっている。
- イ 直前の文の内容の比喩的な言い換えになっている。
- ウ 直前の文の内容のより具体的な説明になっている。
- エ 直前の文の内容に補足事項を加えている。

□(3) 線②「これにならって」とありますが、何にならったのですか。「最初」という言葉を用いて書きなさい。

□(4) 3 にあてはまる接続語として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア そのうえ イ ところで
- ウ ところが エ たたとえば

□(5) 線③「後者」は、何を指していますか。文章から書き抜きなさい。

□(6) 線④「これらの図鑑はみているだけでも楽しく」とありますが、どのような図鑑についてこう述べているのですか。文章中の言葉を用いて三十字以上四十字以内で書きなさい。

30

□(7) 線⑤「チョウ、カミキリムシ、トンボ幼虫(ヤゴ)、土壌動物など」とありますが、これらは何の例として挙げられていますか。それを説明した次の文の□にあてはまる言葉を、十五字以上二十字以内で書きなさい。

□ 「検索図鑑」に取り上げられている生物の例。

15

□(8) 線⑥「日本の図鑑出版の草分け的な出版社である北隆館の図鑑を例にとってみると」とありますが、筆者はこの例を通してどのような考えを述べていますか。文章中の言葉を用いて書きなさい。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30 25

(一) 海知義「漢語の知識」より

□(1) この文章からは次の一文が抜けています。この一文が入る直前の六字を書き抜きなさい。(句読点を含む。)

□(2) —線①「その予言」とありますが、どのような予言ですか。「その」が指す内容を明らかにして、簡単に説明しなさい。

□(3) 1 2 3 にはあてはまる接続語として最も適切なものをそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。(同じ記号は二度使えない。)

- ア または イ しかし ウ そして
 エ ところで オ たとえば カ そのうえ

1	2	3
---	---	---

□(4) —線②「つぎのように」とありますが「つぎ」が指している内容はどこからどこまでですか。初めと終わりの四字を書き抜きなさい。(句読点を含む。)

□(5) —線③「その一つ」とありますが、何の一つだといえるのですか。文章中の言葉を用いて書きなさい。

□(6) —線④「そこから」とありますが、「そこ」が指す部分を文章から十六字で書き抜きなさい。(句読点や記号などを含む。)

□(7) —線⑤「そうでない場合」とありますが、どういう場合ですか。わかりやすく説明しなさい。

□(8) —線⑥「まだ見ぬ動物『くだん』のことを思い出します」とありますが、どういうことを言っているのですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分も、まことしやかで断定的な「くだん」の話をしたくなるということ。
 イ おもしろい話だったなあ、と愉快な気分になるということ。
 ウ 「件」の字の成り立ちについて説明せねばならないと気持ちを新たにすること。
 エ だまされてはいけないぞ、と警戒するということ。

--

○(9) —線⑦「物事はすべてそうです」とありますが、どういうことを言っているのですか。文章中の言葉を用いて書きなさい。
